

中学部 2 年 国語科 学習指導案

日 時 令和 7 年 1 2 月 1 0 日 (水)

3 校時 1 0 : 3 0 ~ 1 1 : 2 0

場 所 中学部 2 年教室

指導者 佐藤 麻依

1 単元名 「先生紹介ムービー」を作ろう！～話を正しく聞き取る～

2 単元目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
話の内容や前後の言葉等に着目し、自分に関係のある質問項目について、話の内容を正しく聞き取ることができる。	身近な人のインタビュー映像を見聞きして、聞いたことを書き留めたり、分からないことを聞き返したりしながら、話の内容を捉える。	身近な人の話を聞く活動を通して、他者が話すことに興味をもち、逃さず聞き取って他者に伝えようとする。

【指導する内容】 中学部国語 1 段階 ア (ア) イ (ア) A 聞くこと・話すこと ア

3 目標に対する評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話の内容や前後の言葉等に着目し、話の内容を正しく聞き取るようとしている。	聞いたことを書き留めたり、分からないことを聞き返したりして、話の内容を捉えようとしている。	話している人に注意を向けたり、最後まで話を聞こうとしたりして、興味をもって他者の話の内容を聞き取ろうとしている。

4 生徒と単元

(1) 生徒について

本学習グループは男子 3 名で構成されている。興味・関心のあることに関しては、自分から発言したり、積極的に教師や友達に話し掛けたりすることができ、相手と共通の話題であれば問い掛けにも反応することができる。興味・関心がない話題については、自分に関することでも反応が薄かったり、朝の会や学部合同の授業の際に教員が全体に向けて話をする場面では、話す人に注目し続けることができず指示を聞き逃してしまったりするなど、話を聞き取ることに課題がある生徒もいる。

国語科の指導では、学校行事の振り返り作文を書いたり、書いた文章を友達の前で発表したりする学習を繰り返し行っている。話す人に注目することや発表後に話の内容について質問することを事前に予告し、同じ流れを繰り返すことで、友達をよく見たり、静かに話を聞こうとしたりする様子が見られるようになってきている。

(2) 単元について

本単元は、中学部国語 1 段階ア (ア)「身近な大人や友達とのやり取りを通して、言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと」、中学部国語 1 段階イ (ア)「事柄の順序など、情報と情報との関係について理解すること」、中学部国語 1 段階 A ア「身近な人の話や簡単な放送などを聞き、聞いたことを書き留めたり分からないことを聞き返したりして、話の大体を捉えること」を踏まえて設定した。

本単元では、インタビュー映像の内容を聞き取り、聞き取った内容を字幕として映像に入力する活動を通して、話の内容を正しく聞き取ることを中心に学習に取り組む。インタビュー映像は、中学部職員や元担任に対して、好きな食べ物や趣味などを尋ねるものであり、身近な人が話す様子で

もあることから、興味をもちやすいと考える。単元の最後には、完成した映像を学部集会で披露することを予定しており、他者に見てもらふ活動が本単元の学習への意欲付けになると考える。

単元の前半はインタビューを撮影した映像を使用することで、注意を向ける対象がモニターだけになるため、周りの環境に左右されることなく聞き取りに集中することができる。さらに、繰り返し見返すことができるため、聞き取る力を身に付けていくことができる。また、話を聞く際の準備を整えることを繰り返し実践し、注目しながら話を聞く経験を積むことで、徐々に話の聞き方が身に付いていくと考える。単元の後半には、前半で身に付けた話を聞く力を生かして、直接職員へインタビューを行う。本単元を通して、話を正しく聞き取ることができる成功経験を積み重ね、国語科の学習だけではなく、学校生活の様々な場面でも話を聞く力を発揮し、将来の生活にも生かすことができると考え、本単元を設定した。

(3)指導にあたって

<知識及び技能>

- ・話を聞き取る習慣が身に付くよう、導入の場面で、聞き取った情報を元に行動したり、発言したりするウォーミングアップを繰り返し行う。
- ・映像や話の中から自分が担当する質問項目について聞き取る経験を積むことができるよう、聞き取る項目の役割分担をして、始めは一つに限定する。また、話す人に注意を向けたり、映像を見る際に注目する箇所について事前予告をしたりして、話を聞く際の準備を整えることが身に付くよう、繰り返し確認する。

<思考力、判断力、表現力等>

- ・話を正しく聞き取ってその後の活動につなげることができるよう、単語で短く書くことや箇条書きなど、メモの取り方を確認する。また、自分に合った方法でメモを取ることができるよう、用紙やタブレット端末などを試す時間を設ける。
- ・分からない点を聞き返すことができるよう、映像の視聴後にメモを見返す場面を設定する。

<学びに向かう力、人間性等>

- ・身近な人の話に興味をもって聞くことができるよう、インタビューの質問項目を決める際に生徒の意見を反映する。
- ・自信をもって活動に取り組むことができるよう、始めはあらかじめ字幕を入れておいたり、何度も映像を見返すことができることを伝えたりするなど、情報の保障をする。

4 指導と評価の計画 (総時数 14時間)・・・本時8/14

時数	めあて・学習活動	評価規準	評価方法
2	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「好きな○○」をまとめよう</div> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きなことや得意なことを書き出す。 ・見本の映像を視聴する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「好きな食べ物、スポーツ」など、質問項目に沿って、自分の好きなことをまとめている。(主) ・興味をもって映像を見ている。(主) 	発言 ワークシート
2	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">友達の映像から聞き取ってみよう</div> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ学習グループの友達の映像から情報を聞き取り、字幕を付ける練習をする。 ・インタビューの項目を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き取りの練習をして、メモの取り方や質問項目ごとに聞き取ることが分かっている。(知・技・思・判・表) ・友達の映像に注意を向け、情報を聞き取ろうとしている。(主) 	発言 ワークシート
5	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「好きな○○」を聞き取ろう ～パート1～</div> <ul style="list-style-type: none"> ・職員へのインタビュー映像から情報を聞き取り、映像に字幕を付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・映像から聞き取ったことをメモしたり、分からないときには聞き返したりして、話の内容を正しく聞き取っている。(知・技・思・判・表) ・映像に注意を向け、情報を正しく聞き 	発言 ワークシート

		取ろうとしている。(主)	
1	「先生紹介ムービー」を披露しよう ～パート1～ ・学級内で、完成した映像を紹介する。	・映像からの聞き取りで頑張ったことや身に付けた力について、他者に紹介している。(主)	発言
3	「好きな○○」を聞き取ろう ～パート2～ ・職員へ直接インタビューをして情報を聞き取り、撮影した映像に字幕を付ける。	・職員の話から聞き取ったことをメモしたり、分からないときには聞き返したりして、話の内容を正しく聞き取っている。(知・技、思・判・表) ・話している相手に注意を向け、情報を正しく聞き取ろうとしている。(主)	発言 ワークシート
1	「先生紹介ムービー」をみんなに披露しよう～パート2～ ・学部集会で、完成した映像を紹介する。	・映像や職員への聞き取りで頑張ったことや身に付けた力について、他者に紹介している。(主)	発言

5 本時の計画

(1) 目標

自分が担当する質問項目が分かり、映像から聞き取ったことをメモしながら、話の内容を正しく聞き取る。(知・技)(思・判・表)

(2) 本時で指導する内容

中学部国語1段階 イ(ア)、Aア

(3) 本単元にかかる生徒の実態と本時の目標

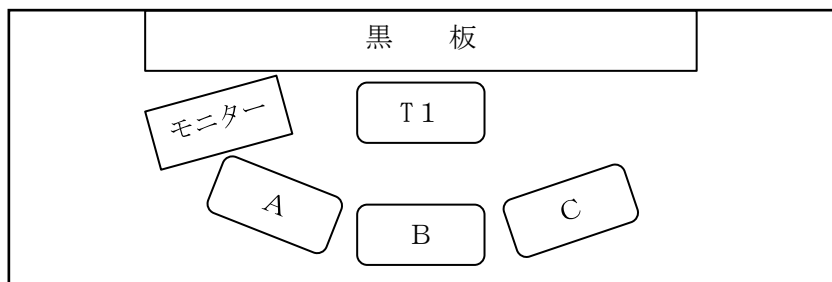
名前	本単元にかかる 生徒の実態	本時の目標
		本時の目標を達成するための手立て
A(男)	<ul style="list-style-type: none"> ・興味・関心があることについては問い掛けに反応したり、好きな言葉を繰り返して話したりする。周囲で様々な音が鳴っていると話を聞くことに集中できなかったり、事前予告をせずに話し始めると、内容を聞き逃してしまったりすることがある。 ・書字に時間がかかるが、短い言葉であれば、筆記や文字入力でメモを取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当する1つの質問項目について、選択肢から選んだり、メモを取ったりしながら聞き取る。 ・話す人に注目することができるよう、モニターと同じ映像をタブレットに映し、手元に置く。 ・正しく聞き取ることが身に付くよう、始めは質問項目の答えを選択肢から選ぶワークシートを提示する。
B(男)	<ul style="list-style-type: none"> ・話している人に注目したり、話を最後まで聞いてその通りに行動したりすることができる。分からないことや間違えることへの不安が強いが、自分から意味を聞き返したり、やり方が分かると、進んで活動に取り組むことができる。 ・短い文であれば、筆記や文字入力でメモを取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き取ったことをメモしながら、担当する1～2つの質問項目について聞き取る。 ・自信をもって活動に向かうことができるよう、1回目の映像で聞き取ることができなかった際に、もう一度見返す時間があることを伝える。

<p>7</p>	<p>よう。</p> <p>②メモが正しく取れたか、映像で確認する。 (時間によって①～②を数回繰り返す)</p> <p>③iPad で自分が担当した部分に字幕を付ける。</p> <p>○振り返りをする。 ・完成した「先生紹介ムービー」を見る。 T：みんなが付けた字幕と○○先生の話はどうでしたか。 C：合っていました。 T：正しく聞き取って字幕を付けることができましたね。 T：○○先生の話をも正しく聞き取るために、どんなことを頑張りましたか。 C：最後まで聞くことを頑張りました。 C：「話を聞くときのポイント」頑張りました。 C：メモを頑張りました。 T：メモを取ったり、自分が担当する項目の言葉に注目したりして、正しく聞き取れましたね。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>メモをしたり、言葉に注目したりすると、話を正しく聞き取ることができる。</p> </div> <p>T：次回は(○○)先生のインタビューです。 今日上手にできたことを、次回も実践してみましょう。</p>	<p>◇メモを取りながら話を聞いたことで正しく字幕を付けられたことが分かるよう、生徒のメモを全体で共有する。</p> <p>◇「話を聞くときのポイント」について、生徒の発言を表に書き足したり、振り返りで再び提示したりする。</p> <p>◇今後の学習への期待感を高めることができるよう、次時で取り組むインタビュー相手の予告をする。</p>
----------	--	---

【教師の評価】

話の内容を正しく聞き取るための手立てとして、発問や言葉掛け、ICT教材の活用は適切であったか。

(5) 配置図



(6) 板書計画

振り返り

メモをしたり、言葉に注目したりすると、話を正しく聞き取ることができる。

③ 字幕を付ける

②映像を見ながらみんなで確認

② 映像を見ながらみんなで確認

① 聞き取り

A ..好きな○○

B ..好きな○○と○○

C ..好きな○○と○○

インタビュー映像から聞き取る

めあて

メモを取りながら、(○○)先生の話から自分の担当するところを正しく聞き取る。

前回の活動

(△△先生)

ウォーミングアップ

① 指令ゲーム

② 伝言ゲーム

「先生紹介ムービー」を作ろう!

話を正しく聞き取る

話を聞くときのポイント

- ・自分は話さない
- ・話している人を見る
- ・メモをとる
- ...